



敗北男の娘の
悪夢の快樂エロ調教!

魔炎少女

セーラー♂
ナイト

最短話

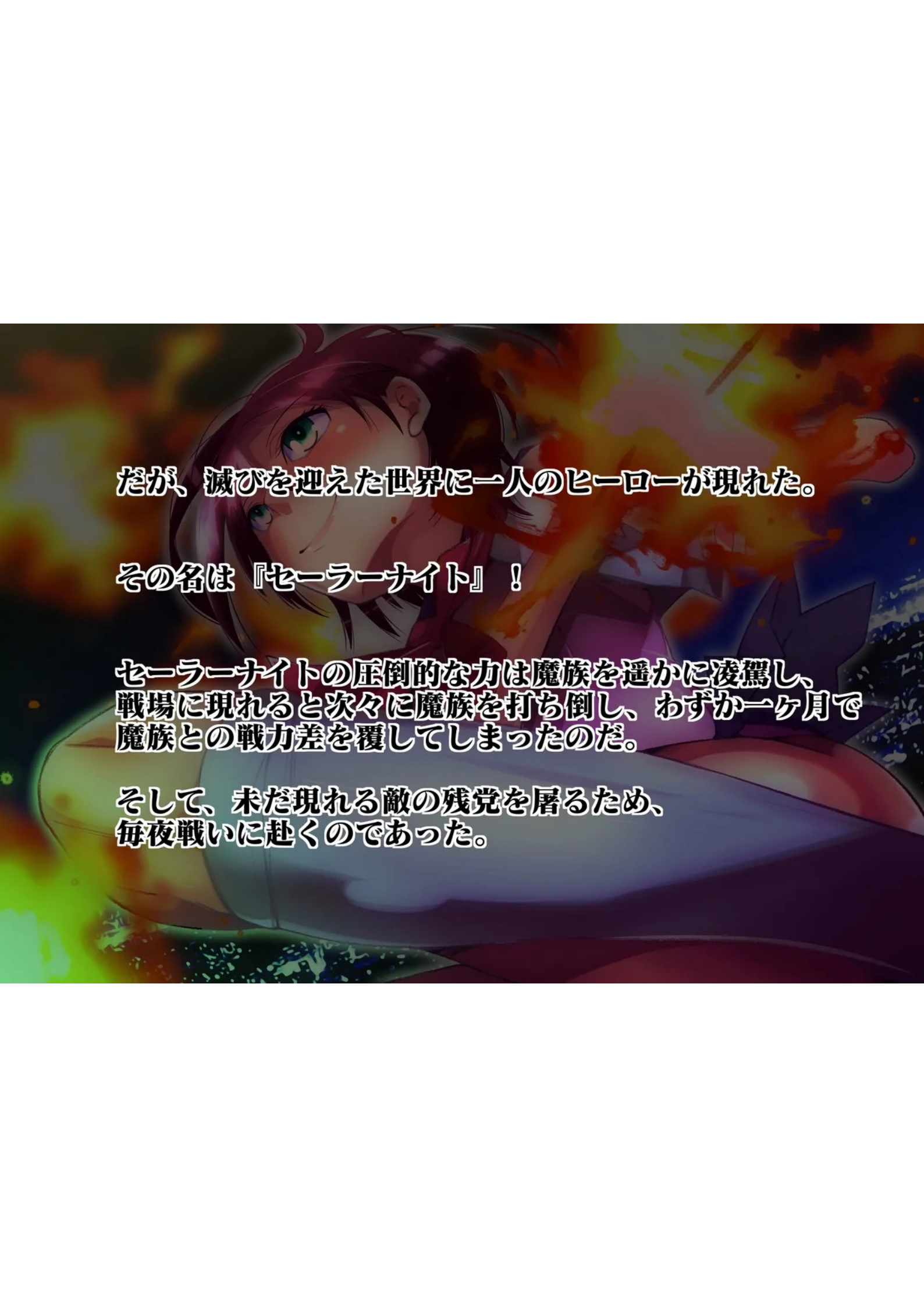
20××年。
突如現れた邪悪な魔族の襲撃により
文明は滅びようとしていた。



ぐおおおおお...うー!

くらえっ!
ファイヤードーン!

アッオ!



だが、滅びを迎えた世界に一人のヒーローが現れた。

その名は『セーラーナイト』！

セーラーナイトの圧倒的な力は魔族を遥かに凌駕し、戦場に現れると次々に魔族を打ち倒し、わずか一ヶ月で魔族との戦力差を覆してしまったのだ。

そして、未だ現れる敵の残党を屠るため、毎夜戦いに赴くのであった。



ふふん、もう終わり？
この辺りの敵も雑魚ばかりに
なっちゃたなあw

もう僕に叶う奴なんて
世界中探してもいないん
じゃない？♡

このおお！
につくきせーラーナイト
めえええええ！

おっー！



あー危なかった、
ふふ、残念だったね

最後の力を振りしぼって攻撃
してきたんだろうけど、
血で服を汚すくらいしか
出来なかったねw

~~~~~  
んねと……ふふ……

同胞たちよ…頼む、  
仇を討って……くふっ！

……？  
強がり言っちゃってw



よし、  
このあたりなら人目に  
つかないな…つと♡


うーん、  
でもちよつと暗いなあ、  
まあちよつと休憩するだけだし、  
魔法使ってもいいかなw

アリス♡

今日のお仕事しゅーりょー♡

オキッ!





ふう、今日もそこそこ働いたなー、  
まったくあいづら弱いくせに数だけは  
そこそこいるからなあw

地球を支配するだなんて子供じみた野望、  
僕がいる以上不可能だっていい加減  
理解したらいいのにw



んあつー!?

ア  
ク  
ン  
!

あ、あれ？なんだろう？  
急に身体が熱くなつて……



ふあ…お、おちん○ん  
ムズムズするう…♡は、早く帰らなきゃダメ  
なのに…で、でも…我慢できないい…っ!♡



あひっ♡ひっ…ふぁっ…あぁぁっ…♡

やばいい…やばいよおお…♡  
ぼ、僕…こんな…街中なんかで…  
発情しちゃうなんてえ…♡

うああ…い、一体なんでえ…♡

んあああああつ♡  
らめっ♡らめええええつ♡

あん

あ

こんなのしてちゃらめなのよっ♡  
早く逃げないといけないのよっ♡

ズキ  
ズキ

ズキ  
ズキ

ズキ  
ズキ

ムリっ♡  
オチ○チン気持ちぢやあつ♡  
止まらないぢやあつ♡

ひあああああんっ♡



あひやああっ♡  
イ、イクうっ♡  
精液でちやうううっ♡

やらああっ♡  
止まらないいいいつ♡  
オチ○ポこしこしするの♡  
止まらないのおおっ♡

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

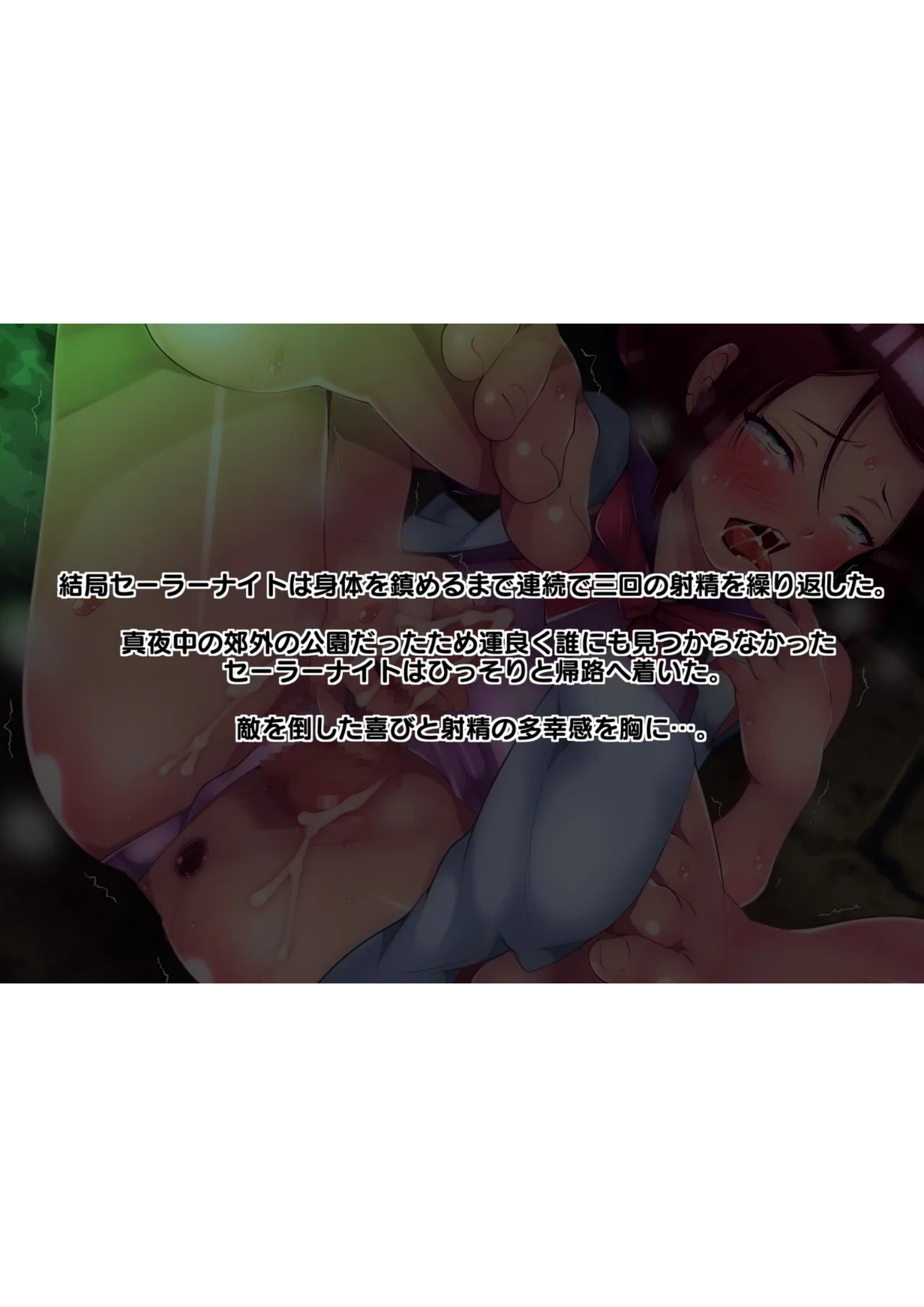




んほおおっ♡  
ほひっ♡ほへええええ…っ♡

ああ…ふああ…っ♡  
ら、らめえ…♡出たのにい…♡  
射精したのにい…まだ出したりない♡

ああ…っ♡  
ダメだよ…我慢しなくちゃあ…♡



結局セーラーナイトは身体を鎮めるまで連続で三回の射精を繰り返した。

真夜中の郊外の公園だったため運良く誰にも見つからなかった  
セーラーナイトはひっそりと帰路へ着いた。

敵を倒した喜びと射精の多幸福感を胸に…。

【次の目、体育の授業中】

あーかったりい、  
バスケなんてやってられっかよ。

なあ、それより  
昨日のセーラーナイトのニュース  
みたか？

見た見たw  
魔族どもをバンバン倒しまくってよお、  
まったく爽快だったぜw



(ふふ、世界中が僕の噂で一色に染まってる♡  
褒められるのっていい気分♡)

(本当はすぐにでも正体を明かしたいところだけど、  
さすがに戦いに支障が出るもんね、  
顔出しは世界を救いきってからでいいや♡)



んはっ!?

ひっ…♡ひあ…あああ…っ♡

(う、嘘…っ、またあの発作が起こって…♡  
ダメっ、ダメダメダメ…っ!  
こんなところでなんて…そんなの…っ!♡)

おい、どうしたマコ?  
顔が真っ赤だぞ?

マジだな…ていうかなんか  
表情エロくねえか…?



あらっ

んあああ…っ♡ひあ…っ♡  
いやあ…見ないれ…みんな見ないれええ…っ♡♡♡

みな、れえ

す、すげえ…座ってるだけなのにイキやがったぞ♡

ああ、こんなの見せられたら俺も…っ♡っ♡っ♡

なあ、前から思ってたんだけどカナって男のくせにめっちゃくちや可愛くねえか…？



おら、立てよカナワ

カア

ひっ……  
いやあ、なにをするの……っ！？

へへ、これが大好物なんだろう？  
なにせ授業中に射精するような変態  
なんだからなあ♡





んぶっ！んぶっ！んぶっ！んぶっ！んぶっ！んぶっ！

(うああ…子、子○ボが喉奥にいい…っ！？  
なんでっ！？ぼ、僕…なんでこんなこと  
されてるのおお…っ！？)

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

くおおおっ♡  
こ、こりやあたまんねえ♡  
こんな気持ちいい回ま○ん  
初めてだぜえ♡



ぐううっ!  
イクぞおおおおっ!♡

おほお!  
お!

おひゅっ♡ほっ♡  
おごおおおおおおおおっ!?!♡



んああ…はあ…あふうう…♡

(うえええ…精液まですすぎるう…♡  
ご、こんな奴ら変身さえすれば  
一発なのにい…っ！)

おへっ

おい、次は俺にかせよ！

うるせえ、俺にきまってるんだろ！

な、なあ、なんか空から  
音が聞こえないか…？

ほっ  
お





次の瞬間クラスメイトの叫び声がこだました。

今までに見たこともないほどの魔族の大群が空から降ってきたのだ。

さっきまでカナを拘束していた男達も逃げようとしたところを魔族の手にかかって呆気なく死んでしまった。

カナは人々を助けるためまだうづきが取れない身体を動かしてセーラーナイトへ変身した。

くううっ!  
離せっ! 離せええええ!

隙だらけだ、セーラーナイトよ。  
やはりあの薬が効いていると  
見えるなあ...w

く、薬...っ!?

左様、我らの同胞が最後の力をかけて  
お前に付着させて液体、  
あれはお前の力を封じるための  
薬なのだ、  
実際うまく空すら飛べまい?



く、くそお…  
それじゃああれはお前らの…!!

ゆ、許さない…っ!  
お前達なんかこの魔法で  
倒してやるう…!!

おっと、  
その技は使わせられんなあw

ホッ!





んああ……あつ……あつ……あつ……！！

(ひ……ああ……な、なにこれ……っ！？  
痛いのに……身体が熱くう……っ！)

どうだ？  
体内へ直接流し込まれる電流は？  
さすがのお前も耐えられまいw

まだまだ終わらんぞ、  
同胞達の恨み、その身体に  
叩き込んでくれるわ！






んぎいっつ……!♡  
ひい…ひほおおっつ……♡

フハハハハ、  
まさか射精するとはなあw  
恐らく薬の効力で痛みを快感と  
誤認しているのだろうw

これは面白い、  
この場で殺そうと思ってたが  
まだ使い道がめりそうだな…





セーラナイトが目を覚ましたのは敗北してから半目がたってからだった。

首に付けられた首輪、乳首が見えるように綺麗に切られた衣装、  
下半身は完全に拘束されそこから謎の触手が這い回っていた。

尋常ならざる自体にセーラーナイトは  
この後自分に降りかかる苦難に表情を曇らせるも必死で虚勢を張った。

くくく、目覚めたかセーラーナイト

キ!

ふ、ふん、お客様をこんなところに拘束するなんて、  
ホント魔族って野蛮な生き物だねっw

まあこういう卑怯な手があんた達には  
お似合いなんだろうけど、それに……

セーラーナイト



おん!!

おん!!

おん!!

エナジー



んうう…!はっ…んうう…!

ま、また電流…?ほんとワンパターンな奴らだね…っ、  
それにあの時の方が痛かったし、もう僕この程度の攻撃  
なれちゃったのかも…っw

今のは神経をいじるための電流だ。  
もう一度やると…

アリス



あつ…ひあ…な、なにを…  
お前たち…僕の身体になにをしたんだよお…!?

なあに、お前の魔力をミルクに変えて  
垂れ流したただけだ。

これでお前は快感を感じるたびに  
魔力を少しづつ放出すること  
なるのだ。

つまりお前は絶頂し続けると  
魔力を回復することができない  
のだ。

ほろい

ふい

ふ

ふ

ハッ!

ハッ!

ア  
ア  
ア





随分キツそうだなあ、  
こいつもしかして処女だったのか？

それは惜しいことしたなあ、  
先に分かってれば俺様がハメて  
やったのにw

いや、いくら拘束してるとは言え  
それは危険だ、  
まずは魔力を奪い尽くしてから、  
話はそれからだ。

あー！

あー！

ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ





お、イッたイッたW

射精すれば大量の魔力が  
放出されるからな、  
まだまだ続けさせてもらっせw

おほおほ

よし、スイッチ『強』だ。  
たっぷり絞りとってやれ。

【三時間後】

へへ、これだけやれば  
魔力も空になっただろ？

いや、まだだ、  
まだまだ大量の魔力が残っているぞ、  
流石はセーラーナイトだ。

マジかよ、そんじゃあまだまだ続けなとな、  
へへ、自分がセーラーナイトだって事を  
後悔させてやるぜw



【一週間後】

おい、セーラーナイトの状況はどうなっているんだ？

そっか、最近確認してないな、どれ、確認してみるか。



ムッ!!

おん

んほおおおつ♡♡♡  
おつ♡♡♡  
おひよおおつ♡♡♡

ムッ  
ムッ

ムッ  
ムッ

ひいつ！ま、まらああ…っ！

んひよおおっ♡  
おぶっ！おぼええええ…っ♡

あふふ

ほお、僅かとはいえ  
魔力が残っているとは…

だがもう虫の息だぜ、  
そろそろ外に出してもいいんじゃ  
ねえかw





おっぱい

おほひよおおお

おおおおおおおっ！♡

んおおおつ♡  
ほお♡ほへええええ…つ♡

ゆ…許ひれええ…つ♡  
もっ…お助けくらひやああい…♡

あっさりいきやがったw  
本気で責めたら十秒に一回は  
イクんじゃねえか？

それにしても敵である我らに命さうとは、  
まったく情けないヒーローだ。

まあ後1日もあれば全ての魔力を  
奪えるだろう、その後はゆっくりと  
愉しませてもらおうw





へへ、助けてほしいか？  
なら舐めろ、俺様のチ○ポに  
忠誠を誓うんだw

ひあああつ！  
お、大きい…！♡♡

(うああ…し、従っちゃだめえ…  
で、でも…この地獄から  
逃げだせるなら…それならっ…)



うろうろ…  
れちゅうろ…♡♡

ああ…誓いますう…  
ご主人様に…忠誠を  
誓わせて頂きましゅう…♡

へへ、やったぜW  
あのセーラーナイトは  
最早俺たちのものだ!

(こんなの嘘…、  
こんな誓い…形だけの  
まがい物なんだからあ…!)

ちゅる

ちゅる



よーし、  
ご褒美だ♡

おひよおおおっ♡  
おっ♡おぼっ♡おぶうっ♡

(ひいっ♡顎が壊れるううっ♡  
こんな大きいの触手にもいなかっただの  
にいいっ♡ひああっ♡  
気持ちよくなっちやうう♡)

くほお、口の中蕩けてるぜえ♡  
流石にやられまくった肉便器は  
違うなあw



おらあ出すぞお!  
魔族様の精液を喰らえええ!

ほひよおっ♡おごっ♡  
おっほおおおおおおおんっ♡♡♡

ズ!

ズホオオ

ズルル!  
ズルル!

びゅ〜



はひいつ…♡はひつ…ひうんつ…ひうう…♡

ふふ、機械の犯されて穴がすっかり伸びきった  
みたいだな、奥の奥まで見えるぞ。

さあ、次は私の番だ、  
お前の頭が狂うまで犯してくれろわ。

（ああっ、入れられるう…♡）

魔族の手○ポにお尻マ○コ支配されちゃうよお♡

ドキ  
ドキ

♡♡



んひゃああっ♡ほひっ♡ほひよおんっ♡  
んほっ♡お、お腹…っ♡くるひいいいいっ♡

(あ、熱いっ…!! 魔族子○ポ熱しゅぎるうっ!!♡  
こんなの知らないっ! 機械や触手じゃ味わえ  
なかつたのお…っ!♡)

あ

ア

ア

ア!

ア

ア  
オ

ア!

くももー！  
おんー！おんけ止めるのだあー！

おんけ

ほぎよおおっ♡おひよっ♡  
おっひよおおっ♡おおおおおおおんっ♡



ほおおおん…っ♡おほお…ほひっ♡  
ほひよお♡ひよおおん♡

ぐふふ、素晴らしい穴だったぞ、  
戦士としては落第だが牝奴隷としては  
最高品質だな…。

よおし、次は私の番だw  
このまま徹底的に犯してやるぞ♡

（くそおお…！今に、今に見てるお…！  
絶対に隙を見て復讐してやるっうっう…！）

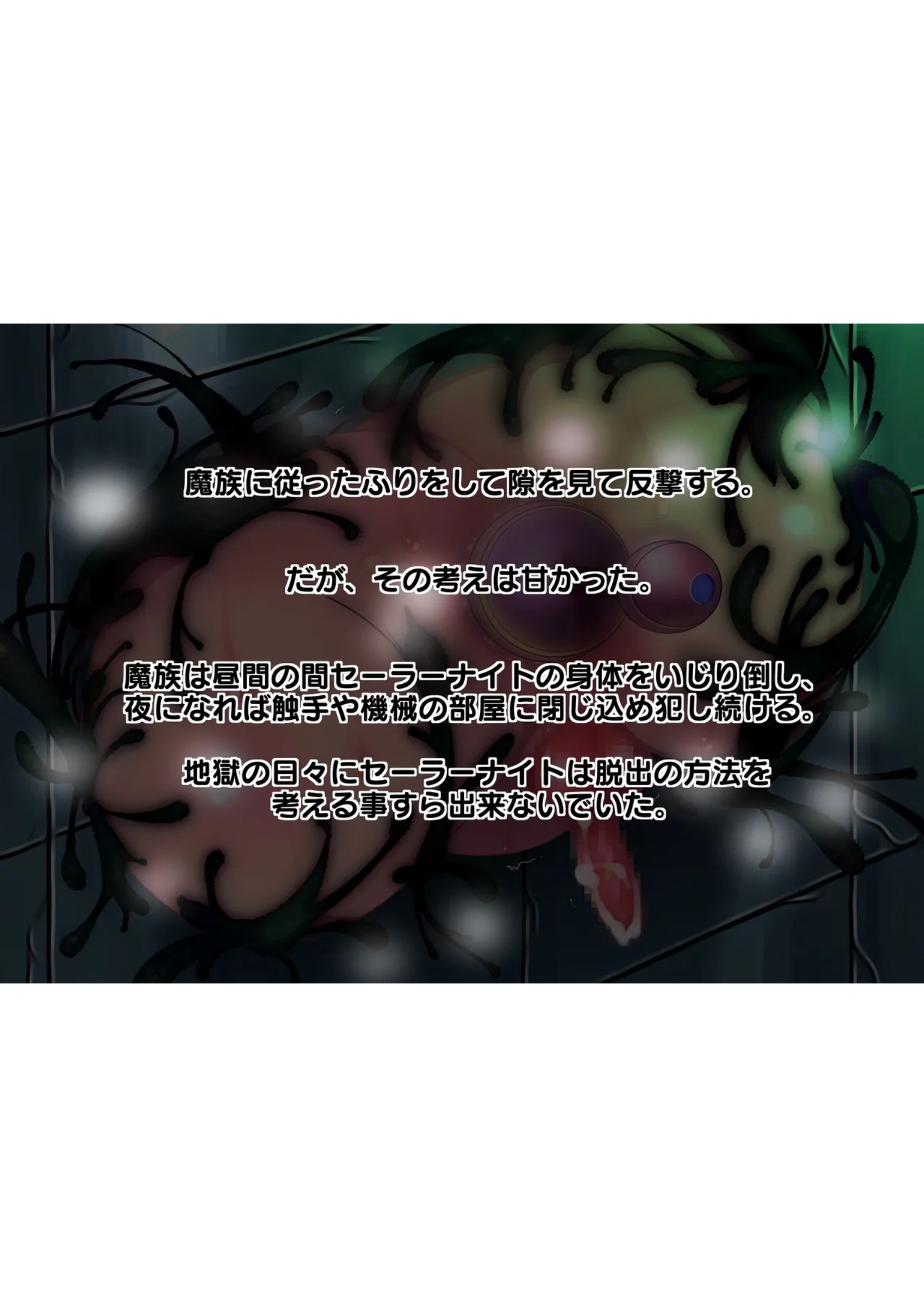
んっ

んっ

んっ

んっ

んっ  
んっ  
んっ



魔族に従ったふりをして隙を見て反撃する。

だが、その考えは甘かった。

魔族は昼間の間セーラーナイトの身体をいじり倒し、夜になれば触手や機械の部屋に閉じ込め犯し続ける。

地獄の目々にセーラーナイトは脱出の方法を  
考える事すら出来ないでいた。

んひよおおっ♡  
おひよっ♡ほひよおおおおっ♡♡

お、今回は触手と機械のダブル攻撃か。  
触手がこっちにまで溢れているぜ♡

全く、顔の方はどうなっているんだらうな。  
想像するだけで身震いするぜw





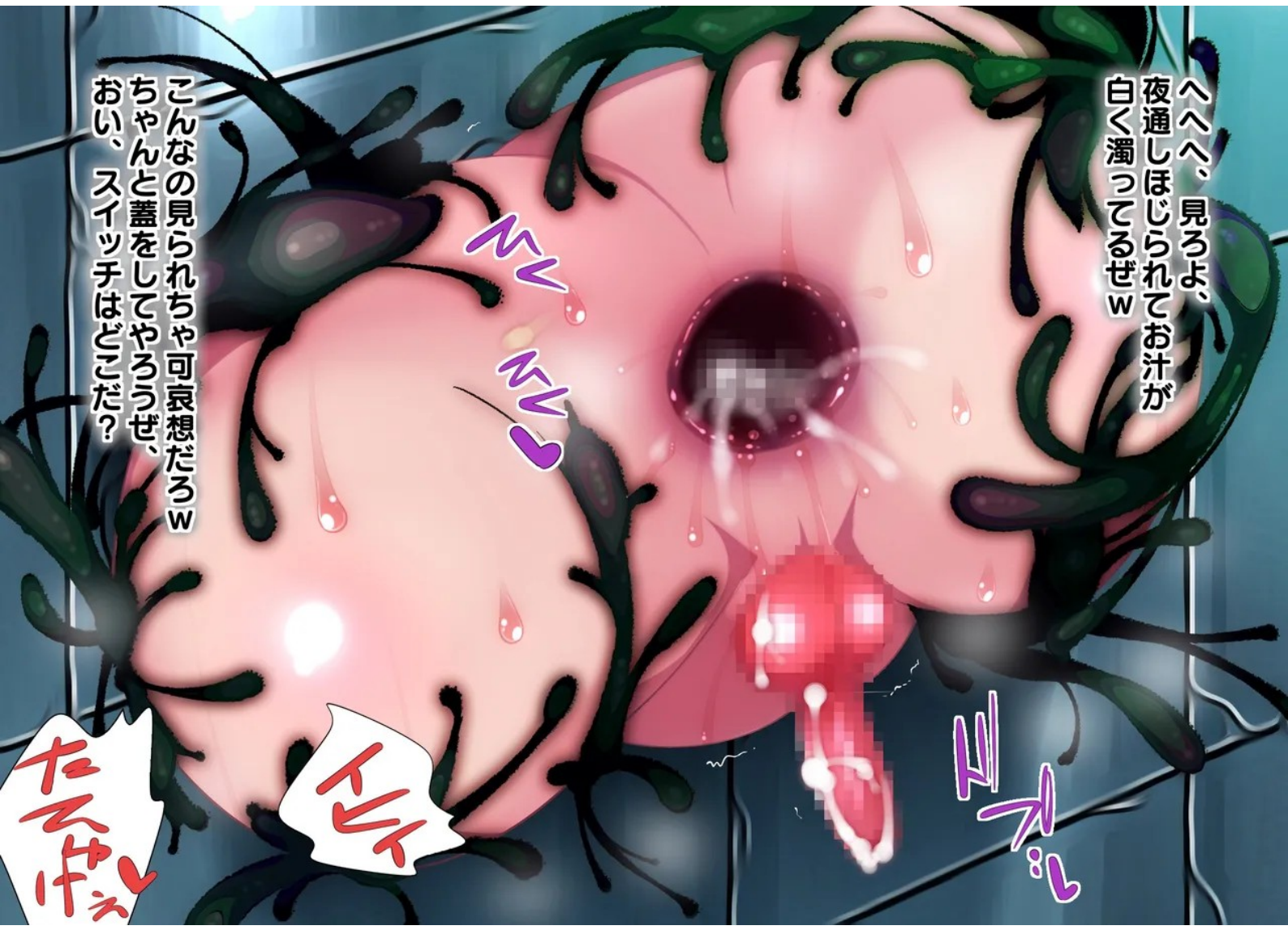
へへへ、見るよ、  
夜通しほじられてお汁が  
白く濁ってるぜw

こんなの見られちゃ可哀想だろw  
ちゃんと蓋をしてやろうぜ、  
おい、スイッチはどこだ？

たまけえ

トク

ヒク



ほれ、スイッチオンw

ぎよひよおおおおおおおつ♡♡

んんん!

ギャハハ、尻穴に電流なんて滅多に  
味わえないぜえ♡  
好きなだけ楽しめよw

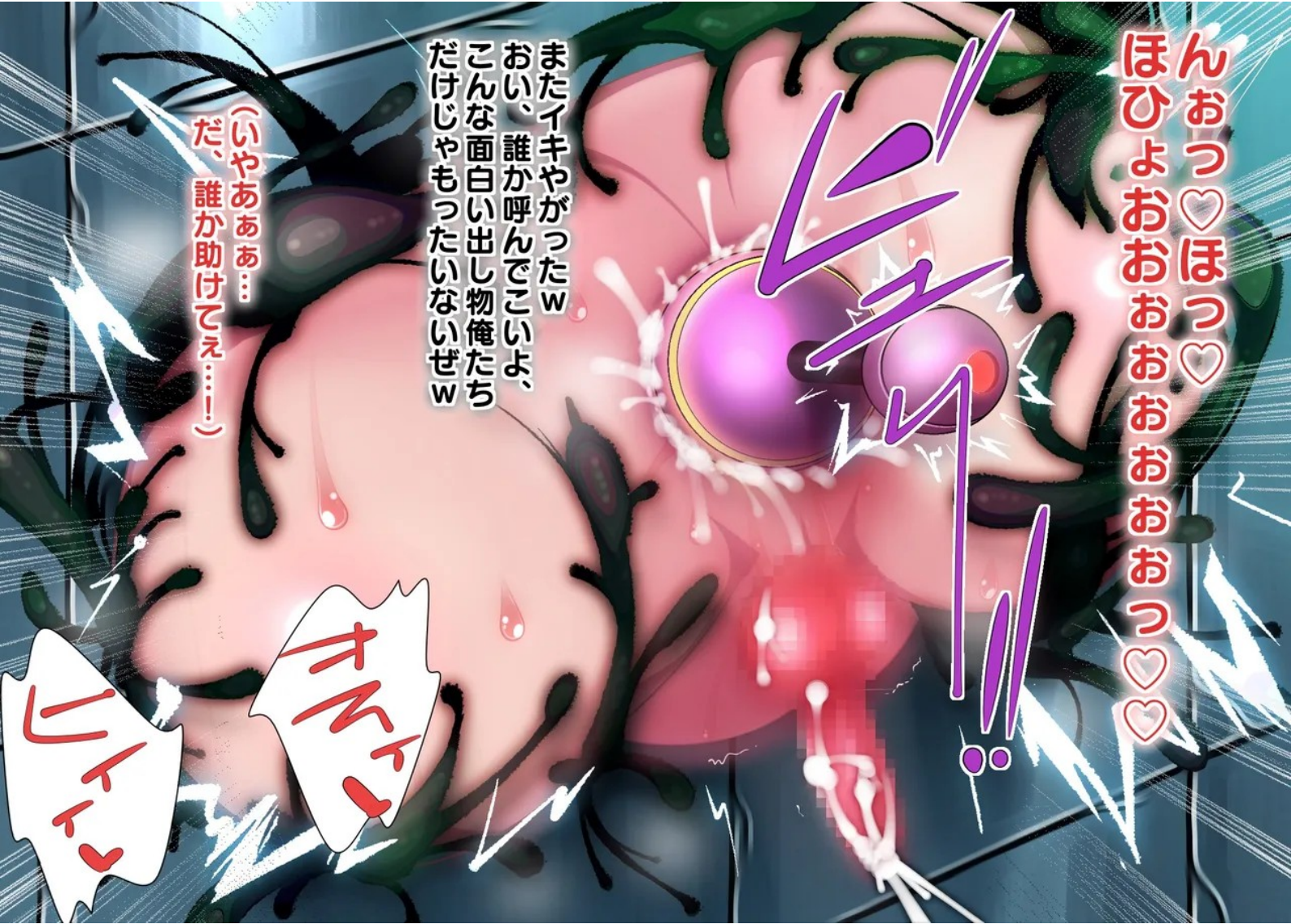
んよおお



んおっ♡ほっ♡  
ほひよおおおお♡♡♡♡

またイキやがったw  
おい、誰か呼んでこいよ、  
こんな面白い出し物俺たち  
だけじゃもったいないぜw

(いやあああ…  
だ、誰か助けてえ…!)





んおっ♡おっ♡おひよおっ♡  
ほっ♡ほっ♡ほっ♡  
ほひよおおおおおおっ♡♡

おっ

おっ

クク

クク

クク

クク

セーラーナイトがここに来てから半年か、  
随分と従順になったものだな。

最早我らには勝てないと悟ったのだろう、  
今では残された聖なる力も衰え  
逆に我らの闇の力が育つておる。

そうなれば我らの大願も  
近づくというもの…ククク…







あーい

んあ...♡はっ♡はええ...♡

ご、ご主人様のザーメン...  
しゅごく美味しいれすう...♡

フハハ、完堕ちという  
奴だなw

まだまだ可愛がってやる、  
覚悟しろ。



.....ふぁい  
ご主人様あ♡

セーラーナイトが魔族の手に落ちて一週間。  
悪に染まったセーラーナイトの力で  
人類文明は呆気なく滅びた。

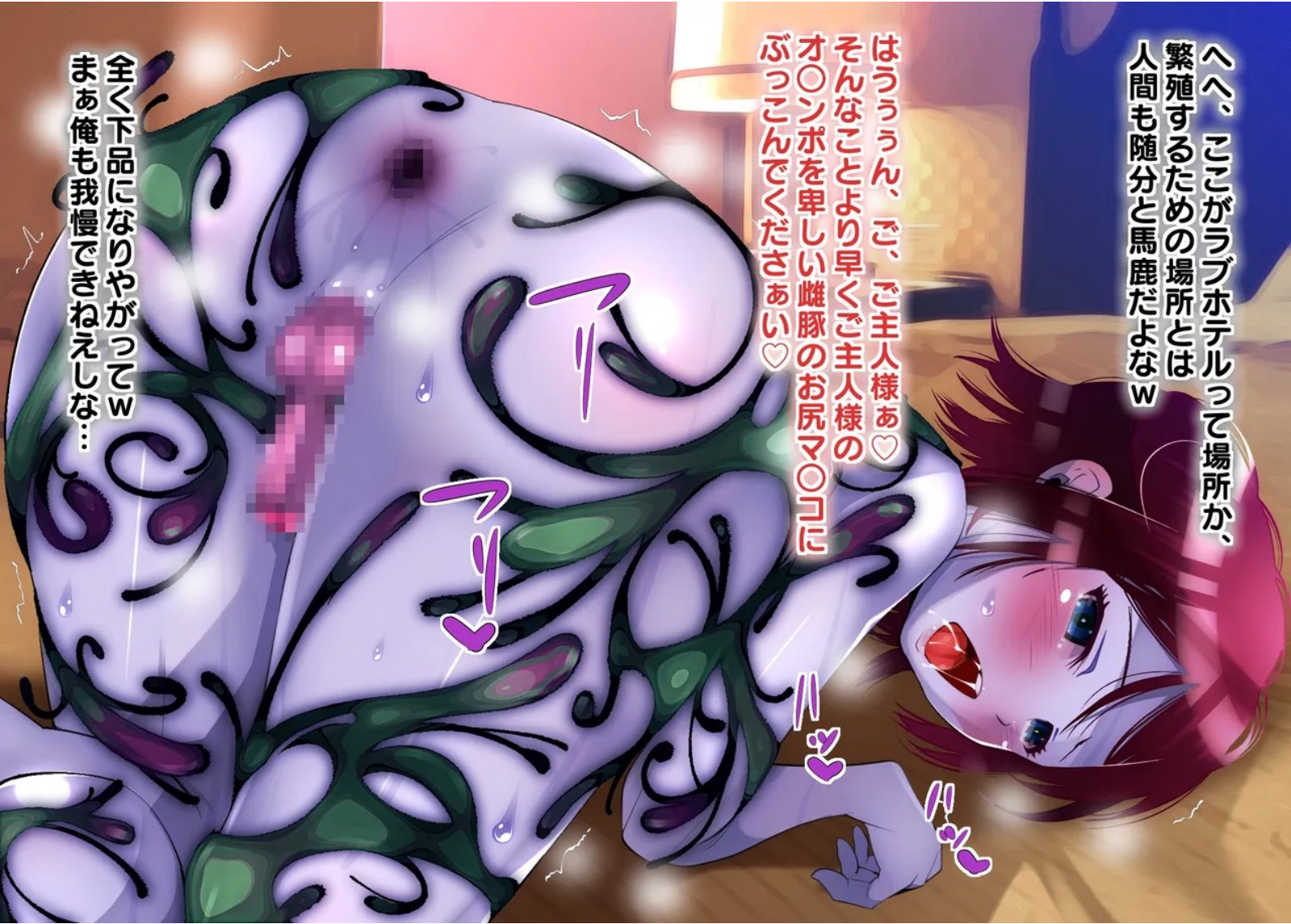
今や地球は魔族の所有物となった。  
器量の良い人間のみが奴隷として魔族に奉仕する事で  
生き延びることが許されている。

そして、役目を終えたセーラーナイトは  
魔族共有の性処理奴隷となった。

へへ、ここがラブホテルって場所か、  
繁殖するための場所とは  
人間も随分と馬鹿だよなw

はううん、ご、ご主人様あ♡  
そんなことより早くご主人様の  
オ○ンポを卑しい雌豚のお尻マ○コに  
ぶっこんでくださいあい♡

全く下品になりやがってw  
まあ俺も我慢できねえしな…



望み通り  
突っ込んでやるよ！

ひゃほおおおおおおおんっ♡



ひよほおっ♡ほっ♡ほひいんっ♡

しゅごひい♡ご主人様のお子○ポ  
遅しくしゅぎりゅのおおっ♡  
んひよおおおおん♡♡

だらしねえ正義の味方だなあ、  
悪堕ちして魔族になって  
ヒンヒンよがりまくってやがるW

ああんっ♡い、いわないれえ♡  
魔族のオチ○ポこんな気持ちいいなんて  
知らなかったんらものおっ♡

おれ

おっ



なんだあ？  
魔族様に反論するのなあ？  
罰として腸の中を精液で一杯に  
してやる！

ほっひよおおおおおおおっ♡♡♡  
もっ♡もうひわけありまっ♡んほっ♡  
おほおおんっ♡ほおおおんっ♡

ふよふよ  
おほおほ



んひよおっ♡ほっ♡おひよっ♡  
ひおおっおおんっ♡

ふー、良い締めり具合だぜえ♡  
戦士とはしてクズ同然だがこっちの方は  
奴隷の中でも最高レベルだな♡

そっいえばもうすぐお前を強制妊娠させる  
ためのカプセルが完成するらしいぜ、

魔族の子だねとお前の魔力が合わされば  
最強の戦闘兵器が生まれるぜ、  
お前も嬉しいだろ？w





ふあいいい……♡

……

**FIN**